

# 庶路川筋のアイヌ語地名

## 第1回

白糠町には古くからアイヌの人たちが住み、豊かな自然やその恵みとともに独自の文化を育んできました。その中で最も身近なものが、普段私たちが使っている地名で、町内の地名の多くはアイヌ語に由来しています。今回からは、「海岸筋」「茶路川筋」に続き、北海道横断自動車道（道東道）庶路インターチェンジの開通を記念して、「庶路川筋」のアイヌ語地名について、地名の由来やアイヌ文化に関する話題など、庶路川をさかのぼりながら紹介します。

### ○フラサカオマナイ

「フラサカオマナイ」について、白糠地名研究会は「フラル（もや、霧）・サクパ（夏）・オマ（入る、ある）・ナイ（沢）」という意味から、「夏になるともやや霧が立ち込める沢」と訳しています。

また、「フラ」には「匂い、臭い」と言う意味もあることから、夏にこの土地で咲くクロユリ、アヤメ、エゾカンゾウなどの花の匂いから付いたのかもしれないとされています。この意味での訳は「夏

になると花の匂いが立ち込める沢」となり、匂いが立ち込めるくらい花が咲き誇る様子が目に浮かびます。いずれにしても、これから夏にかけての風景を地名にしたものです。

この地名は、現在、庶路共同墓地の南側の原野を指しますが、「ナイ」というアイヌ語から、乳呑を出てJR根室本線の橋近くで庶路川に注いでいる小川に由来していると思われま

す。ちなみに、「フラ」が付く地名

には「富良野」があります。川の名前がもとになっていて「フラ（臭い）・ヌ（持つ）・イ（もの）」と言う意味です。水源が十勝岳のため、水に硫黄の臭いが含まれていることから、そう呼ばれたと考えられています。

（参考／富良野市公式ホームページ）

### ■庶路川筋のアイヌ語地名

『庶路川筋のアイヌ語地名』では、24カ所を今月号から順に紹介する予定です。（隔月掲載）

- ① フラサカオマナイ
- ② マサルカオマブ
- ③ チプタナイ
- ④ チノミ（乳香）
- ⑤ トーパラペツ
- ⑥ エルモクンナイ
- ⑦ オタクシユベウシナイ
- ⑧ ケトンチコタン
- ⑨ オレウケナイ
- ⑩ シリクロチ
- ⑪ タンネナイ
- ⑫ オニヨツプ
- ⑬ クツシヨナイ
- ⑭ ウカルキナイ
- ⑮ オンタシナイ
- ⑯ ルーオンネナイ
- ⑰ クオマナイ川
- ⑱ パナアンソーポコマナイ
- ⑲ ペナアンソーポコマナイ
- ⑳ ションピナイ
- ㉑ タツタマツプ
- ㉒ シケレペ川
- ㉓ コイカタシヨロ川
- ㉔ カカンナイ

